

# 宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

令和6年3月28日発行

## 1. 発生動向

上段は発生患者数、下段は定点当たり

疾病	疫学週				判断基準(定点当たり)		
	9週	10週	11週	12週	警報レベル		注意報レベル
	2月26日～3月3日	3月4日～3月10日	3月11日～3月17日	3月18日～3月24日	開始基準値	収束基準値	基準値
インフルエンザ#	17	7	26	34	30	10	10
	5.67	2.33	8.67	11.33			
新型コロナウイルス感染症#	54	35	24	20	-	-	-
	18.00	11.67	8.00	6.67			
RSウイルス感染症	0	1	1	1	-	-	-
咽頭結膜熱	3	0	0	1	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	12	7	4	8	4	-
感染性胃腸炎	11	9	6	5	20	12	-
水痘	0	1	0	0	2	1	1
手足口病	0	0	0	0	5	2	-
伝染性紅斑	0	0	0	0	2	1	-
突発性発しん	0	0	0	0	-	-	-
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	6	2	-
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	6	2	3
急性出血性結膜炎	定点設定なし				1	0.1	-
流行性角結膜炎	定点設定なし				8	4	-
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	定点設定なし				-	-	-
無菌性髄膜炎	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎	定点設定なし				-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	定点設定なし				-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎(小児科)	0	0	0	0	-	-	-
川崎病	0	0	0	0	-	-	-
不明発疹症	0	0	0	0	-	-	-

栗原支所管内定点数: #は3施設。それ以外は2施設

## 2. 施設対応状況 (過去2週間における支所対応状況) ◎:複数対応中、○:対応施設あり、-:対応無し

施設区分	保育所	高齢者・障害者入所施設	医療機関
対応状況	-	◎	-
備考		新型コロナウイルス感染症	

### \*「1.発生動向」の解釈について

- ・上段は圏域全体で一週間に診断した患者数
- ・下段は一つの定点(医療機関)において一週間に診断した患者数
- ・下段の定点当たりの数値を表右側の判断基準と照らし合わせて評価してください。

## 3. 新型コロナウイルス感染症の段階適用状況

国の基準に基づき、在院者数に応じた本県の段階(Ⅰ～Ⅲ)を定め、段階に応じて即応病床数を設定していましたが、令和6年3月31日をもって、段階の運用は終了となります。

	段階	適用期間	県の在院者数
今週	Ⅱ	3/27～3/31	348人
前週	Ⅰ	3/20～3/26	282人

## 4. 栗原支所より

### 【全数報告疾病】

2類:結核 女性1名

※全数報告疾病…すべての医師から届け出が必要な疾病

### 【定点把握対象疾患】

- ・インフルエンザは前週より増加し、注意報レベルに達しました。
- ・新型コロナウイルス感染症は前週より減少しました。
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(溶連菌)は前週より減少しました。
- ・感染性胃腸炎は前週より減少しました。

### 【集団発生情報】

新たな集団発生の報告はありません。

### 【感染症コラム～疥癬(かいせん)～】

- ・ヒゼンダニ(疥癬虫)が皮膚の最外層である角質層に寄生し、人から人へ感染する疾患です。
- ・ヒゼンダニの大きさは400μm程度です。毛嚢や自らがつくったトンネルに隠れているため、肉眼での確認は困難です。
- ・非常に多数(100万～200万匹)のダニの寄生が認められる角化型疥癬(痂皮型疥癬)と、少数寄生(数十匹)で激しい痒みを伴う普通の疥癬(通常疥癬)とがあります。
- ・ヒゼンダニは乾燥に弱く、皮膚から離れると2～3時間程で死にますが、患者から剥がれ落ちた皮膚には多数いるため、集団発生の感染源になります。
- ・近年の日本では病院、高齢者施設、養護施設等で集団発生の事例が増加しています。
- ・診断にはヒゼンダニの確認が必須ですが、専門医でも検出率は60%程度のため、陰性であっても強いかゆみが続く場合は繰り返し検査をする必要があります。
- ・治療にはヒゼンダニを殺すことを目的とした塗り薬または飲み薬が使われます。

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班  
☎0228-22-2117 ☎0228-22-7595

HP:<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khhwzfz/ktindex.html>